

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年8月20日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格動向			8月の価格動向			生育及び価格の8月の見通し	
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額			
		中旬	下旬		上旬			
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	51	53	74.19	51	・入荷見込量：16,538t (100) ・主産地：群馬 (73)、岩手 (15)、北海道 (6)	・群馬産は、順調な生育で潤沢な出荷になっている。今後も潤沢な出荷の見込み。岩手産は、少雨の影響でやや小玉傾向ではあるものの、順調な生育で潤沢な出荷になっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.91	55	57	88.91	54	・入荷見込量：4,100t (100) ・主産地：群馬 (65)、長野 (34)	
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	273.33	318	238	273.33	203	・入荷見込数量：4,035t (100) ・主産地：茨城 (38)、青森 (20)、輸入 (7)、北海道 (6)、秋田 (6)、千葉 (4)、埼玉 (3)	・茨城産は、上旬まで出荷がほぼ終了。青森産は、少雨の影響で細め傾向となっていたが、適雨により生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		342	340	344	342	340	・入荷見込数量：220t (94) ・主産地：香川 (34)、大阪 (17)、奈良 (13)、徳島 (12)、三重 (6)、高知 (6)	
	はくさい	78.06	47	52	78.06	57	・入荷見込量：6,484t (100) ・主産地：長野 (94)	・長野産は、少雨の影響で小玉傾向となっていたが、適雨により生育が回復し、今後は潤沢な出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.72	45	47	88.72	58	・入荷見込量：2,600t (100) ・主産地：長野 (99)	
	ほうれんそう	583.95	434	579	583.95	552	・入荷見込量：831t (100) ・主産地：栃木 (32)、群馬 (26)、茨城 (13)、岩手 (11)	・栃木産は高温の影響で生育が鈍り、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は生育が回復し、順調な出荷の見込み。群馬産は、平年並みの出荷となっていたり、今後も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		670.86	555	613	670.86	625	・入荷見込量：400t (91) ・主産地：岐阜 (85)、北海道 (11)	
	レタス	120.13	99	109	158.27	115	・入荷見込量：8,810t (100) ・主産地：長野 (85)、群馬 (11)	・長野産は、病害もなく生育が順調で潤沢な出荷となっている。今後も潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年をやや下回って推移する見込み。
		132.22	96	112	160.6	122	・入荷見込量：1,750t (97) ・主産地：長野 (99)	
果 菜	たまねぎ	84.85	133	139	84.85	136	・入荷見込量：9,312t (95) ・主産地：北海道 (30)、兵庫 (29)、佐賀 (28)、輸入 (8)	・兵庫産は、前倒し出荷をしたため下旬以降は出荷量が減少し、少なめの出荷となる見込み。佐賀産は少なめの出荷の見込み。北海道産は、下旬から全地区での本格的な出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、落ち着いて平年並みに近づく見込み。
		84.85	144	146	84.85	136	・入荷見込量：3,500t (101) ・主産地：兵庫 (82)、北海道 (10)	
	きゅうり	210.69	200	216	210.69	156	・入荷見込量：8,256t (100) ・主産地：福島 (44)、岩手 (22)、秋田 (12)、宮城 (5)	・福島産は、気温の上昇とともに出荷のピークを迎え、潤沢な出荷となっている。今後も順調な出荷の見込み。岩手産は、平年より少なめとなっているものの、気温の上昇により安定した出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		221.71	201	199	221.71	157	・入荷見込量：2,200t (95) ・主産地：福島 (35)、北海道 (25)、愛媛 (20)	
	トマト	229.51	308	311	229.51	237	・入荷見込量：9,611t (105) ・主産地：青森 (27)、福島 (16)、北海道 (12)、群馬 (11)、岩手 (9)、秋田 (7)、千葉 (6)	・青森産は、夜温が高かったことから、出荷量が増加し平年より多めの出荷となっていたが、今後は高温の影響で花落ちも見られることから、出荷量が減少し平年並みの出荷となる見込み。福島産も気温の上昇により平年を上回る出荷量となっていたが、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		271.33	346	343	271.33	288	・入荷見込量：2,200t (100) ・主産地：岐阜 (39)、北海道 (24)、岡山 (17)、愛媛 (7)	
根 菜	なす	209.55	353	309	209.55	186	・入荷見込量：4,975t (100) ・主産地：栃木 (32)、茨城 (25)、群馬 (22)、埼玉 (9)	・栃木産は、平年並みの出荷となっているものの、少雨の影響で着果数が減少しており、今後は出荷量が減少する見込み。茨城産及び群馬産は、生育が遅れていた分の出荷も重なったことから、下旬までは平年より多めの出荷となる見込み。 ・栃木産の出荷が減少すると見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。
		221.72	315	287	221.72	212	・入荷見込量：1,250t (99) ・主産地：山梨 (26)、徳島 (18)、京都 (11)、大阪 (9)、奈良 (8)、福島 (6)、愛媛 (6)	
	ピーマン	251.5	296	272	263.58	275	・入荷見込量：2,088t (100) ・主産地：岩手 (43)、福島 (18)、茨城 (18)、青森 (16)	・岩手産は、気温の上昇とともに出荷量が増加し、平年並みの出荷となっている。福島産は、順調な出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		266.65	354	246	282.16	202	・入荷見込量：570t (99) ・主産地：兵庫 (20)、北海道 (15)、福島 (15)、愛媛 (12)、青森 (9)、大分 (8)、鳥取 (6)	
根 菜	だいこん	94.6	67	68	94.6	61	・入荷見込量：9,943t (98) ・主産地：北海道 (75)、青森 (18)、岩手 (4)	・北海道産は、好天により順調な生育で、潤沢な出荷の見込み。青森産は、少なめの出荷となっているが、月末にかけて増加する見込み。 ・北海道産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		100.39	74	70	100.39	61	・入荷見込量：3,200t (95) ・主産地：北海道 (78)、岐阜 (13)	
	にんじん	133.01	148	113	123.08	98	・入荷見込量：6,951t (105) ・主産地：北海道 (77)、青森 (18)、輸入 (4)	・北海道産は、順調な生育で遅れた地域の出荷も重なり、潤沢な出荷となる見込み。青森産は、平坦地での出荷は上旬で終了し、今後は高冷地からの出荷となり、出荷量が減少する見込み。 ・北海道産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		132.62	154	112	123.11	92	・入荷見込量：2,300t (103) ・主産地：北海道 (88)、青森 (9)	

種類	7月の価格動向		8月の価格動向			生育及び価格の8月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		
		中旬	下旬				
いも さといも ばれいしょ	344	290	338	242.66	314	<p>・入荷見込量：547t (-) ・主産地：千葉(43)、宮崎(37)、輸入(10)、鹿児島(9)</p> <p>・入荷見込量：185t (-) ・主産地：宮崎(72)、鹿児島(12)、愛媛(5)、輸入(5)、大阪(4)</p>	
	347.9	317	288	220.11	234	<p>・入荷見込量：5,850t (105) ・主産地：北海道(48)、茨城(18)、青森(9)、千葉(7)</p> <p>・入荷見込量：3,300t (110) ・主産地：北海道(66)、青森(13)、千葉(6)</p>	
	101.61	86	82	101.61	82	<p>・茨城産は、出荷のピークとなり順調な出荷の見込み。北海道産は、降雨の影響で収穫作業が少し遅れているが、下旬から本格的な出荷となり、平年並みの出荷となる見込み。</p> <p>・順調な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>	
	101.61	87	92	101.61	90		

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもは、前年実績。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は今年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、5.103gで前年比104%、購入金額は、1,875円で同101%となり、購入量は前年をやや上回り、購入金額は前年をわずかに上回った。また、小売物価統計によると、7月のキャベツの小売価格は、121円で過去5か年平均比76%、レタスは、274円で同84%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に下回った。	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)					
	年	過去5か年平均	平成23年		平成24年		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比	1月	2月	3月	4月	5月
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	144	127	88	350
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	0	0	0	0	160	121	76	324
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	0	0	0	0	156	0	0	463
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	0	0	0	0	155	0	0	562
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	0	0	0	0	161	0	0	505
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0	0	0	0	162	0	0	371
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0	153	0	0	453

1) 過去5か年は平成19~23年の平均。  
2) 平成24年7月の値は、7月中旬の速報値。

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

7月の輸入を植物防疫統計でみると、たまねぎは前年比163%(中国は同132%、ニュージーランドは同15,500%)の3万3千トン、にんじんは同161%(中国は同180%、オーストラリアは同119%)の1万トン、ねぎは同97%(中国は同97%)の4千トンとなり、たまねぎ及びにんじんは、前年を大幅に上回り、ねぎは前年をやや下回った。	野菜の輸入数量の推移 (単位:トン、%)						主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)						
	区分	平成22年		平成23年		平成24年1~6月		品目	輸入先	平成23年7月(A)	平成24年7月(B)	(B)/(A)	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比						
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	555,238	109	76,675	123	たまねぎ	合計	20,252	32,987	163
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	939,614	105	160,538	107	中国		19,872	26,278	132
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,494,852	106	237,213	111	ニュージーランド		25	3,875	15,500
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	740,041	107	116,781	105	にんじん	合計	6,462	10,390	161
中国産シェア	51		52		50		49		中国		5,244	9,420	180
								オーストラリア			450	536	119
								ねぎ	合計		4,516	4,400	97
								中国			4,514	4,398	97

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年7月は、速報値である。

## 4 トピック — 8月31日は「野菜の日」 —

8月31日は、「野菜の日」。野菜についての認識向上を目指し、全国青果物商業協同組合連合会等が、「や(8)さ(3)い(1)」の語呂合わせから、昭和58年に制定したものである。このように、野菜の消費拡大等を目的として、関係団体等により、旬の時期を念頭に、様々な野菜関連記念日が設けられている。	主な野菜関連記念日						行事等に由来するもの					
	記念日	記念日	野菜の形と日付の関係に由来するもの	記念日	由来	記念日	由来	記念日	由来	記念日	由来	記念日
いちごの日 1月15日	ゴーヤーの日 5月8日	ピーマンの日 4月9日	Pと9の形が似ていることから(よい(4)P(9)マン)	メロンの日 5月5日	メロンの形が、左(裏返し)と右に二つ重ねた形であることから	らっきょうの日 6月6日	数字の6がらきょうを二つぶら下げた形に似ていることから	すいかの日 7月27日	すいかの模様を綱(27)に見立てた語呂合わせと、旬が7月であることから			